



大聖堂 司教座都市と

ナラティブ・アイデンティティ・ネットワーク



西洋中世学会

Japan Society for Medieval European Studies

第18回大会 岡山大学・津島キャンパス

2026年 6月6日(土) 7日(日)

6月6日(土) 13:00-18:15 / 6月7日(日) 9:00-17:15

6/6 (土) 13:00 - 18:15

6/7 (日) 9:00 - 17:15

シンポジウム 12:45 - 16:45

自由論題報告

14:00 - 18:15

- 森下勇矢 | 沈黙の騎士
—「ヘルスヴァルまたは聖杯の物語」における道化の変容—
- 浅野ひとみ | アルフォンソ10世「豪華写本」挿絵における「鷹狩り」
- 上遠野翔 | 「神学」の位置付けと「神学者」の位置付け
—トマス・アキナスからギヨーム・ド・ピエール・ゴダンまで—
- 西川雄太 | カテキズムの変容と読者層
—アビndonのエドマンド『教会の鏡』から『信者の覚書』へ—
- 岡本信照 | なぜネプリハは中世の文法書 *Doctrinale* (1199) を否定したのか？
—「ラテン語入門」(1481)との対比を通じて—

シンポジウム 司教座都市と大聖堂—ナラティブ・アイデンティティ・ネットワーク—

- 趣旨説明 ◆ 伊藤喜彦
- 成川岳大 | 中世北欧における司教事績録の移転と大聖堂の記憶
- 山本成生 | シャトルル大聖堂の内陣仕切りをめぐる信仰空間
- 桑原夏子 | サンリス大聖堂扉口装飾を起点とする図像伝播について
- 新居達也 | 大聖堂の間テクスト性
—セント・ポール大聖堂回廊の『死の舞踏』をめぐる—
- 嶋崎礼 | 近世におけるゴシック様式の選択
—オルレアン大聖堂を例に—

9:00-11:30
ポスター・セッション

11:40-12:40
DH
ワークショップ